

平成 24 年度議会報告会における会場での質疑応答（抜粋）

- Q 実質公債費比率が県下で一番悪いと言われていました。歳入を増やすか、歳出を削らないと、平成 27 年度までに 17.9%の数字は達成できないと思う。どういった方法で達成するのか。
- A 市の説明によれば、10 年間の基本計画をベースに戦略プランに載る事業を出来るだけ削り、借金をせずに事業を行えば達成できるとのこと。
- Q 原発を停止することにより、雇用、経済的様々な我々の活動に関連することが起きると思うが、今後どのようなようになるのか。
- A この地域の経済のことを心配する議員もいたが、市民の命をまず最優先に考え、決議しました。
- Q 講師を呼んでの議会研修会場で、どんなことが指摘されたか。「市民との意見交換による政策提言を図る」とあるが、今後どのような形で進められていくのか。
- A 市民の幅広い意見を吸い上げるため、議会の構成メンバーには若者や女性の議員も必要だと指摘された。市民との政策提言を語ることは今まで正になかった。それをどういう仕組みでやっていこうかという研究を今後始めていく。